

「つむぐ」 地域づくりの第一歩

特定非営利活動法人 百生一輝

1.事業の目的

ひきこもり状態のある人は全国で146万人と推定されており年々増加傾向にあります。またいわゆる「8050 9060問題」は解決しなければならない喫緊の社会的課題です。しかし、ひきこもりに特化した根拠法が無いことから、支援の必要なひきこもり当事者に、当事者の状態像に見合った支援が届いていないのが現状です。

ひきこもりの当事者およびそのご家族が、住み慣れた地域で孤立することなく安心して暮らし続けることができるよう、地域資源を利用、創り出すことで、地域との関係の再構築に向けて動きだせるきっかけづくりになることをこの事業の目的とします。

*事業名の「つむぐ」はいろいろなもの(人)とつながり、寄り合いながらひとつのものを作るという意味。

2.活動内容

家族会

- ・情報交換、提供の場。
抱えている状況を話せる、聞いてもらえる、そして受け止めてもらえる場として、毎月第二日曜日 13:30~16:30 開催している。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
当事者家族	10	5	9	10	4	9	6	8	9	9
元当事者	1	1	1	1	0	2	2	2	2	2
支援者等	4	2	1	1	5	1	1	3	4	3

2024年4月~2025年1月の家族会参加人数は118名。

- ・参加者は、ひきこもり当事者家族、元ひきこもり当事者、支援者等
- ・家族会に来られている参加者向けに、ストレスの軽減、仕事の効率アップなど、日常生活の質の向上を目的に「マインドフルネス」セミナーを9月に開催。

個別相談

- ・地域での孤立を防ぐことを目的とし、時間、場所は当事者の方に合わせて随時開催。
- ・面談対象者：ひきこもり当事者の状態像の変化により、家族会への参加が遠のいた方、多人数の場が苦手なひきこもり当事者家族、元ひきこもり当事者、および生きづらさをかかえた方で誰かと繋がりたい方。
- ・面談実績：2024年4月~2025年1月 36人

アウトリーチのチームづくりに向けて

- ・アウトリーチ支援=訪問支援を行っていくには、多様なひきこもり当事者の状態像に見合った人的資源が必要と思われる。支援者の性別、年代、趣味、特技等、幅広い人材による、アウトリーチ支援者のチームづくりを目的としたセミナーを開催する。
- ・2024年11月24日 第一回開催
2025年2月16日 第二回開催予定



3.成果と今後の展開

- ・昨年度までは前記 ~ の活動を自費で行っていたが、助成金をいただくことで家族会を職員2名で行うことができるようになり、当事者家族の声をより広く聞くことができるようになった。個別相談においては、面談希望者の希望する時間、場所に対応することができ、孤立感が和らぐことに繋がっているのではないかと考えている。そして中長期的な関わりが必要で直接支援が必要と思われるひきこもり当事者に向けて、多様な人材の確保としてアウトリーチセミナーを二度開催できることは、地域との関係づくりへの第一歩になるものと考えている。

今後は前記活動を継続、展開していくことはもちろんではあるが、ひきこもりの当事者に対して自己責任論が根強く残っている現状のなか、ひきこもりの地域理解に向けての啓発セミナーなども開催していく必要があると思っている。